

〈発行者〉松ヶ根部屋後援会  
〈発行〉〒273-0037  
〈連絡先〉  
千葉県船橋市古作4-13-1  
〈協力〉スポーツニッポン新聞社

第54号

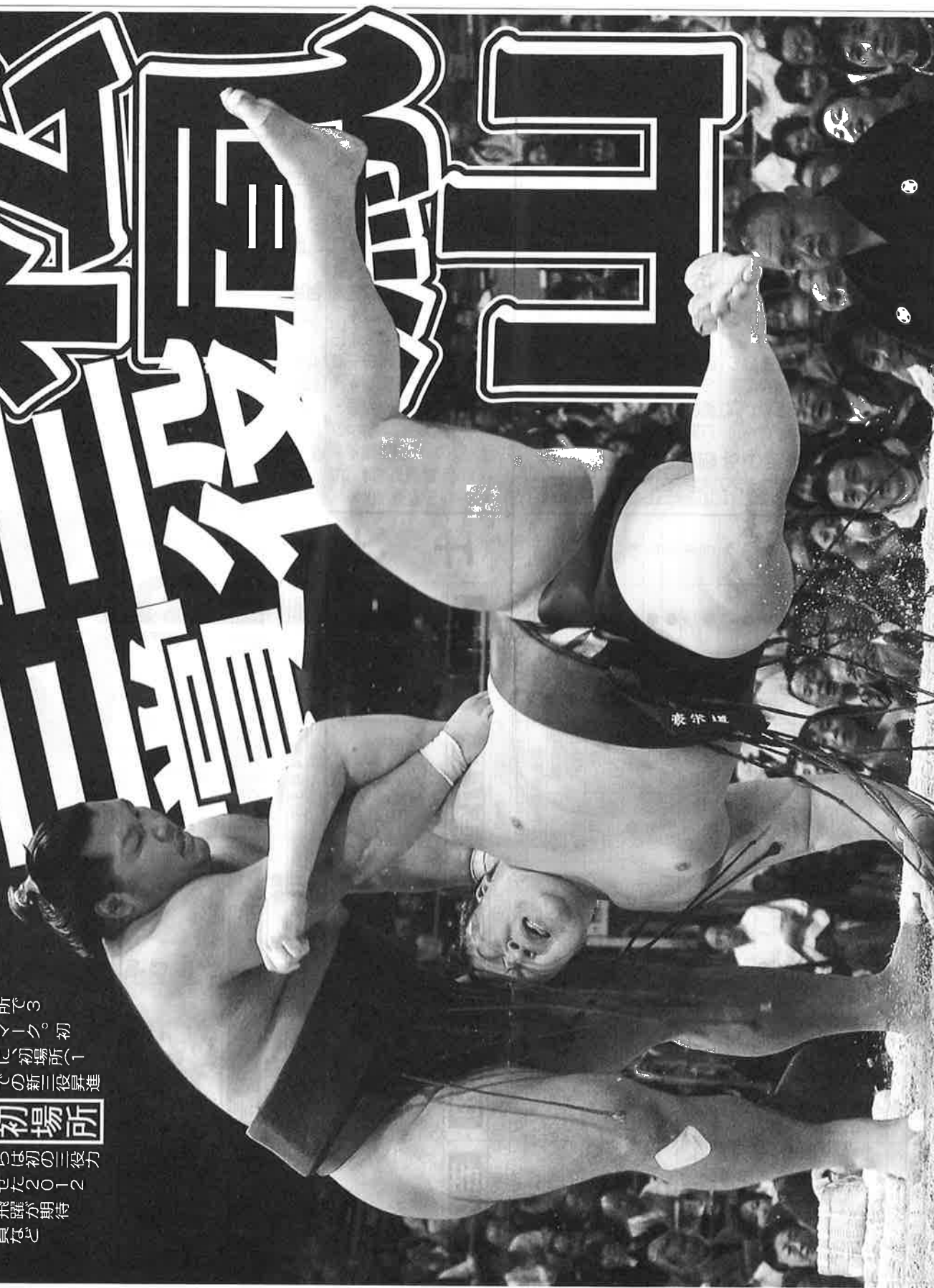
# 松ヶ根部屋

## 地元九州で10勝!! 声援も人気も独り占め!!

### 13日初日◎初場所

を果たした。松ヶ根部屋からは初の三役力士が誕生。成長した姿を見た2012年の総括、そしてさらなる飛躍が期待される2013年の抱負などを聞いた。

松嵐山が11月に  
行われた地元九州場所での3  
大関を撃破するなど10勝をマーク。初の  
敢闘賞を受賞するとともに初場所(1  
月13日初日、西国国技館)での新三役昇進



## 新小結直撃!! 新春特別インタビュー

**秋の粘り** — 三賞受賞へ三役昇進おめでとうございます。九州場所を振り返ってくださいますか。

「立ち合いなどを交えて結果を出せたのが良かった。秋場所までは王口手が多かったのですが、突っ張りを入れてから中に入ったり、かましたり…。王口手一本の攻めたらあそびで勝てなかったと思う。場所前にも着目野部屋への出陣で大きな力士と稽古ができて、中に入る取り口を確認できたのも良かった」

**秋場所(東前頭筆頭)も最終踏ん張って大負けしなかったのも大きかったのでは?**

「そうですね。秋は勝ち敗になつてから、「とにかく前に出よう」と聞き直つて、そこから連勝。結果的に1枚しか番付が落ちなかったのが、九州につながりました」

**恩返しを** — 2年前に野球賭博問題で場所の出場停止。支えてくれた周囲に恩返しが出来たのでは。

「あの時があつて今があると思う。相撲を辞めようと思った時もありましたが、師匠、おかひさん、家族、周囲の人。いろんな人に支えられた。辞めないで良かったし、感謝の思いは忘れない。今後その人たちのために土俵で頑張らないといけない」

— それにしても九州場所の人気はすごかったですね

「家族も来てくれたし、本当に有り難いことです。あんなに声援してもらえるとは思っていませんでしたから」

**敢闘精神** — 敢闘精神にあふれる相撲を取った力士へのアツク投擲でも1位が何回もありました。

「個人的にはあまり意識はしていませんが、評価してもらえるのはうれしいです。でも、たまにいい相撲を取つても1位でない時に、「えー?」と思うこともありますけど(笑)」

— 秋、九州でのベストバウトは?

「秋場所は千秋楽の豊ノ島戦(押し出し)。九州は千秋楽の阿寛戦。阿寛戦は意外と相性はいいのですが、うるさい相手を一気にもつていた内容には満足しています」

— 初の三賞の感触は。

**「3」の年** 「三賞は本当にはしかなかったんです。昨年は最初の3場所で三役に定着する力を付け、残りの3場所で三役に上がつて、三賞を取るという目標を立てていた。そういった意味ではクリアをできた。2012年は「3」がキーワードでしたね」

— 好成績を収めることができた要因は。

「2011年の九州場所は地元での新人幕で、ものすごい重圧があつた。いい相撲を取らないといけない、そして地元の声援も初めてだった。正直、出陣前に極度の緊張から、もどしたこともあった。しかし、何番か取つていくうちに「負けてもいいんだ。いい相撲さえ取れば、納得してくれるだろう」と思えるようになった。重圧を逆に力に変えられるようになったのが大きかった」

— だいたい気持ちの持ち方も変わりましたね。

「今は相撲に対して楽に考えられるようになった」

— 今年は三役からスタートしますが、目標は?

「もろひとつ上を狙つていきたいですね。初場所は相手も研究してきますが、自分も九州と同じではいけないと思つています。上を目指せるような体作りをしていく必要もあります。それに横綱にも勝つたいですね」

— 横綱のイメージは?

「巨鷹関は反応が早い。次から次へと攻めがくるので大変です。巨鷹関は動きは速いし、張り手もある。それに反応すると差されてしまう。自分としては巨鷹関のよくな攻めは参考にになります」

**ハイ?** — そういえばインターネット上で「ハイ」と表現されていますね

「色が黒いと彫りが深いからですかね(笑) あまり気にしていませんけど」

— 2012年を振り返ると

「うーん、93.3点(93点)かな(笑) 今年は力強く、どしりとした相撲を取りたい」

(構成・黒田 健司郎)

